

— 山口国体・柔道成年男子 — 千葉県の2連覇に京葉ガス柔道部員3選手が貢献

京葉ガス柔道部の3選手が第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」に千葉県代表として出場し、2年連続2度目の優勝に貢献しました。

10月2日から3日間にわたり山口県で開催された山口国体の柔道競技に、当社柔道部から西岡和志（次鋒）、花本隆司（中堅）、須藤紘司（大将）の3選手が千葉県代表の5人チームの一員として出場。決勝戦までの全5戦を3選手とも無敗で戦い抜き、千葉県の2連覇に貢献しました。

3日と4日に行われた成年男子の部は5階級（60kg級、73kg級、90kg級、90kg超級、無差別級）による団体戦で、勝者数が多いチームが勝ちとなるトーナメント戦です。千葉県チームは初戦の2回戦で地元の山口県と対戦。強豪ぞろいで「決勝に進むまでの一番の強敵」（花本選手）を相手に2-0で勝利しました。

これで勢いに乗った千葉県チームは続く富山県との3回戦を3-0で制し、準々決勝では愛知県を、準決勝では福岡県をともに5-0で下しました。

決勝の相手は実力者を揃えた東京都。それまで4戦全勝の次鋒・西岡選手は「チームのポイントゲッターとして全試合勝つつもりで戦った」ものの惜しくも引き分けて、0-0のまま中堅戦になると、花本選手は「柔道の実力がありとても尊敬している」西山将士選手に合わせ技一本で勝利しました。副将戦を終え1-1となり、大将戦に優勝の行方が懸かります。須藤選手が「あこがれの選手で初めての戦いにワクワクした」と話す鈴木桂治選手を相手に「自分の力を出し切ることを考えて戦った」結果、優勢勝ちし、チームを優勝に導きました。

チームのコーチを務めた中濱真吾・京葉ガス柔道部監督は「3選手がそれぞれ頑張り、チーム内での役割を果たした」と評価しました。



▲（後列左から）千葉県成年男子チームの中濱コーチと、須藤、（前列左から）花本、西岡の3選手